今だからこそ

上伊那の -Vol.1- 仕事とくらし

はじめまして、こんにちは。

今回「上伊那の仕事とくらし」を担当します本間と申します。私は今年の4月に上伊那に戻り、現在は上伊那広域連合の地域振興課で働いています。

それまではと言いますと、大学への進学を機に上京し、そのまま東京で社会人生活を送っていました。ところが、年々「暮らし」の部分で、東京を窮屈に感じることが多くなり、また、コロナ禍で地元に帰れない、家族に会えない状況が続いたことで、改めて上伊那の豊かな自然、澄んだ空気、のびのびとして贅沢な暮らしを懐かしく思い、今回地元にUターンという決断をしました。

地域振興課では、特に「若者人材確保事業」に重点を置いています。「若者人材確保」と言うと硬い印象を受けると思いますが、簡単に言うと、「若い世代の人たちに上伊那でイキイキと暮らしてほしい。そのために地域の魅力を伝え、地域で生きるという選択肢があることを知ってもらいたい」ということです。

多くの学生が都市部に進学、就職する一方で、地域のことを知る機会が少なく、知らないまま進学、就職してしまうという現状があります。

今回の特集では、上伊那で働き暮らす人々の「仕事とくらし」をクローズアップし、この地域の魅力をシリーズでお伝えしていきます。

コロナ禍の中で、人々が密集する都会ではなく、地方での暮らしが見直されている今だからこそ、私たちの生まれ育った伊那谷を知り、改めて上伊那で暮らし働くことを、地域の皆様と一緒に考えていきたいと思います。

©宮島敏（伊那市）

都市部から就職を機にーターン！ 伊那谷の魅力とは？

就職を機に、生まれてから学生時代まで過ごした千葉県を離れ、伊那谷に移住してきた橋本さん。入社して半年の現場研修を経て、人事教育センターに配属され、2年目の現在は文系の採用を担当されているとのことです。

「学内の説明会でこの会社に出会い、人柄の良さと会社の雰囲気を感じ、直感で"ここで挑戦したい"と決めました」と橋本さんは笑顔で語ります。最初は慣れない土地での一人暮らしに寂しいと思うこともあったそうですが、同期との繋がりや地域との繋がりができ、その寂しさは全くなくなったそうです。"実は最近車のタイヤを自宅の駐車場の側溝に落としてしまったんですが、会社の仲間9人と隣の家の方も駆けつけてくれて、車を上げてくれたんです。上伊那には温かい人たちがたくさんいる。見ず知らずの自分を、気にかけ助けてくれるんです。"と伊那谷の人々の優しさに驚いたそうです。プライベートでは、同期と一緒にキャンプを伊那谷に来なければやらなかった。これからも新しいことに挑戦していきたい」と嬉しそうに話してくれました。

最後に「伊那谷に来たことを後悔してないですか？」という質問に対して、笑顔で「全く後悔してないです！」と言い切った橋本さんです。今後は、自身が入社したときに採用を担当していた先輩のように、ーターン希望の学生やコロナ禍で不安を感じる学生の気持ちに寄り添いたいと目を輝かせて話していたことが印象的でした。

【入社2年目】橋本さん

地元が好き！つながる地域の輪。

入社5年目の下平さんは高校卒業後、人混みが多いところが苦手で、自然豊かな地元が元々大好きだったことから、地元での就職を見据えて県内の大学に進学し、入社を決めたそうです。現在の部署では生産設備の開発・既存設備の保守保全を担当。製造現場からあがってくる改善要望にスピーディーに対応し、「品質を落とさずにコストを下げて生産するにはどうすれば良いか」を模索しながら日々奮闘しているそうです。「製造現場で設備を使用する社員に良い設備だねと言っていただけることが嬉しく、やりがいのある仕事なんです」と下平さんは話してくれました。

また、プライベートでは小学校から大学まで続けた卓球を現在も社会人クラブで続ける傍ら、小中と通った地元の卓球クラブの指導者として、自身の部活動での経験やスキルを後輩たちの指導に活かしているそうです。下平さんは「自分が指導した後輩が大きくなり、地元で活躍してくれることを願っています」と話してくれました。

【入社5年目】下平さん

抵抗器って縁の下の力持ち！

「抵抗器って実は縁の下の力持ちですごい存在。普段の生活の中で抵抗器自体を直接目にする機会はないけど、身近なところでとても役立っているんですよ」と語るのは入社2年目の熊谷さん。現在所属するQC（品質管理）グループでは、製造現場の品質管理を担当し、数多くある製品について、一つずつ知識を深めているそうです。

社内の雰囲気についてお聞きすると「温かい職場で教育研修がしっかりしていて、一年目には現場研修があり、製造現場でしっかり学ぶ環境もあるんです。会社全体で"若手を育てる"という意識もあるので、わからないことはどんどん質問して吸収できます」と語ってくれました。

また、県外の大学に進学しましたが、都会での満員電車で通勤する生活はできないと感じて、地元就職を決めたそうです。就職の決め手は、地元の企業であること、敷地内の森林環境や社内に置かれた薪ストーブを見て、地球環境にも配慮しているという会社の方針に魅力を感じたと言います。

現在は慣れ親しんだところで、家族と一緒に生活できて、居心地良い毎日だそうです。

プライベートでは、地元の野球チームに所属し、月2回ほどの練習でリフレッシュしているとのこと。終始穏やかな雰囲気で取材に対応してくれた熊谷さん、これから品質管理という重要な仕事を習得し、縁の下の力持ちになることを目標にしていると語ってくれました。

【入社2年目】熊谷さん

抵抗器で世界シェアトップクラス「KOA株式会社」

経営理念「循環・有限・調和・豊かさ」

第1回の特集は、箕輪町に本社を構える（本店・伊那市）KOA株式会社です。会社紹介をしてくださったのは、人事教育センターの中川さん。

『KOAでは電流の流れを調節する「抵抗器」の製造販売が主な事業です。電流の量を調節する抵抗器は、基本的には電気で動く全てのものに入っています。例えば身近なスマートフォンには1台に約250個の抵抗器が入っていると言われていますが、当社の製品は家電、コンピューター、自動車、ゲーム機、航空宇宙関連などありとあらゆるものに使われています。』

人事で採用を担当されている中川さんは、KOAの未来を担ってもらえる社員を採用するために、日々奮闘しているそうです。

■初回の取材を終えて

今回初めて自分で取材をして記事を書くという貴重な経験をさせていただきました。

今回の取材で特に印象に残ったのは、KOA㈱人事教育センターの南部さんの「上伊那にあるたくさんの会社が、それぞれに工夫をして会社の想いや良さを発信し、上伊那にもたくさん面白い会社があるんだと地域の皆さんに知っていただきたい。そして最終的には上伊那って住みやすい、素敵な地域だと思ってもらいたい」という言葉でした。自社の周りには、上伊那地域の他の企業や上伊那地域があるという意識は当たり前かもしれませんが「上伊那地域を一つに」という意識はこの地域ならではの願いだと感じました。

【上伊那地域の取り組み】

上伊那の各自治体では、地域振興のために様々な事業や情報発信を行っています。また、上伊那広域連合でも地域のUIJターン就職や就活情報等の発信を行っています。

▲
就活準備合宿申込
参加学生募集中！

▲
LINE登録 上伊那の
就職情報も発信しています。